

月刊

建材

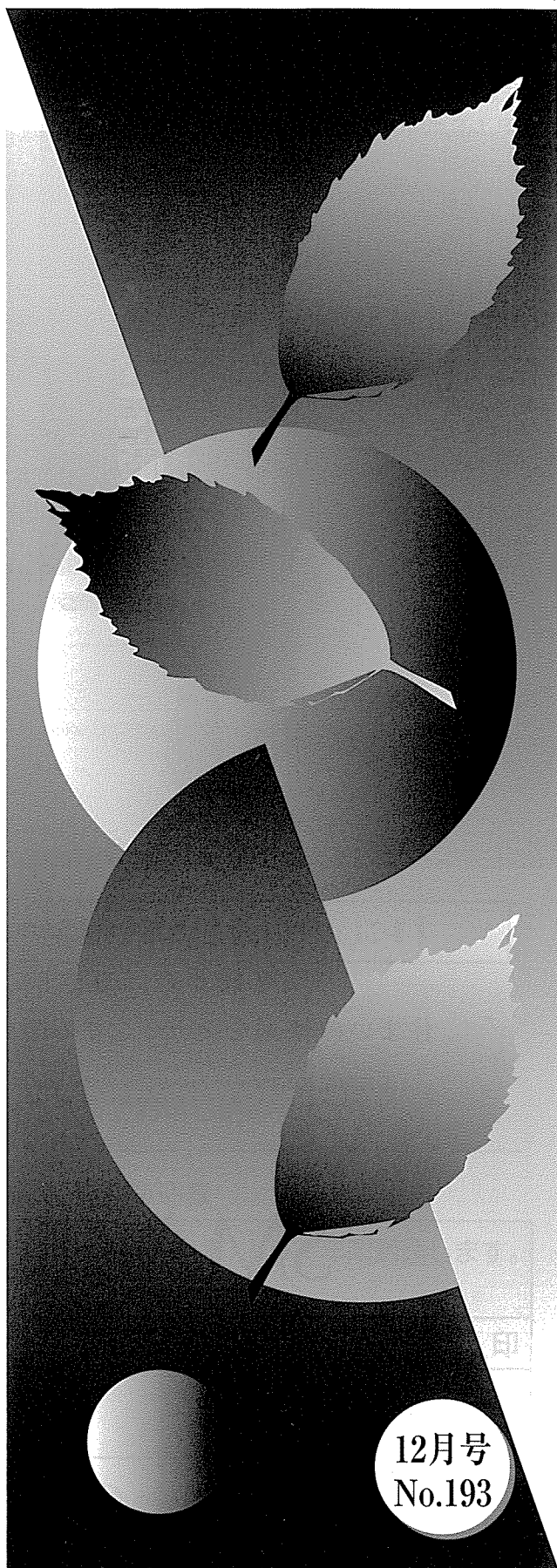
ナビ

特集 断熱Ⅱ地域以南向けの次世代

スタンダード商品として育成急ぐ

「アルミ樹脂複合窓」

断熱サッシの普及品としてのポジション
確立狙う「アルミPGタイプ」



12月号
No.193

Life with Green Technology

三協アルミ



国内最高レベルの断熱性がつくりだす

「冬暖かく」「夏涼しい」理想の快適空間。

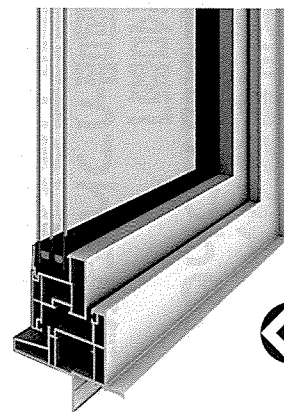
住まいの快適をデザインする断熱樹脂窓「スマージュ」誕生。

断熱樹脂窓「スマージュ・トリプルスマージュ」は2014年グッドデザイン賞を受賞しました。

SMARJU

断熱樹脂窓 スマージュ

高断熱樹脂窓 トリプルスマージュ



GOOD DESIGN
AWARD 2014

三協立山株式会社 三協アルミ社

〒933-8610 富山県高岡市早川70 TEL(0766)20-2251 <http://alumi.st-grp.co.jp/>

関東住宅建材支店/TEL(03)5348-0801 東海住宅建材支店/TEL(0561)62-1201 関西住宅建材支店/TEL(06)6916-0203

ミルト出版会

〒182-0023 東京都調布市染地 3-1-87

ト-1-407号

☎042-484-4507

FAX 042-484-4509

発行人 堤 祥行

年間購読料 30,000円(送料・税込)

建材 navi 12月号-No.193 目次

特集 断熱Ⅲ地域以南向けの次世代スタンダード商品
として育成急ぐ「アルミ樹脂複合窓」/
断熱サッシの普及品としてのポジション確立狙う
「アルミPGタイプ」 9

[環境・健康建材コーナー] 2

[新製品・新技術情報/業界の動き] 15

© Miruto Shuppankai Ltd.2014 無断転載・コピーを禁ず

建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!

FAX:042-484-4509までお申し込みください

キリトリ

月刊「建材navi」購読申込書

月刊「建材navi」を平成26年(2014年) 号(月号)より1年間購読します。
(年間購読料/送料・税込30,000円)

貴社名		部署		ご芳名	印
送付先				☎	
				FAX	

LIXIL

住宅リフォームの2つのFCを新ブランド「LIXIL リフォームショップ」に統合、2015年4月スタート

LIXIL(藤森義明社長)は、2012年7月から全国展開している住宅リフォームの2つのフランチャイズチェーンを統合し、2015年4月1日から「LIXILリフォームショップ」としてスタートさせる。



白井副社長

LIXIL取締役副社長の白井春雄LIXILジャパンカンパニー社長は、「住宅リフォームは2016年で8兆5000億円といわれ、新築15兆円の半分強になる。これが2020年、2023年には新築とリフォームがほぼ並ぶ勢いと予測されており、今後も2ケタ成長が見込める。

今回、新たなブランド「LIXILリフォームショップ」を起爆剤として更なる市場創造に励んでいく。2つのFCは、すでにモノ売りリフォームから住まいの空間提案型リフォームにシフトしている。そうした提案型リフォームを更にすすめて、市場を掘り起こしていきたい」と述べた。

今回統合されるFCは、リノベーション商品・新築二世を扱う「住まいプロホームウェル」と、住設機器のプロファイリングシステム・ライフスタイルコンパスを扱う「住まいコンシェルLIFA」の2つ。

新たな「LIXILリフォームショップ」は、LIXIL認定のリフォームのプロフェッショナル「リフォームコンシェルジュ」を全店に配置し、交換や修繕だけではなく、特許

取得のプロファイリングシステムを活用しユーザーの潜在ニーズを探り実現する「コトリフォーム」提案、価値創造リフォームを提供していく。さらに、FC独自のリフォームローンやカード決済サービス等のファイナンスサービス、住宅の検査、リフォームかし保険などのサービスも充実させる。

2014年10月末時点で、加盟店数408店、2013年度加盟店売上高598億円の実績。今回の統合により2014年度加盟店480店・売上高640億円、2015年度同600店・同840億円、2016年度同1000店・同700億円の事業目標を掲げる。

* *

LIXILならびに2つのFCは11月4日、一般社団法人住生活リフォーム推進協会「HORP」を設立した。霞ヶ関のLIXIL本社内に事務局を置き、代表理事は田口和敏LIXILジャパンカンパニーリフォーム推進統括部長。国土交通省が住宅リフォーム事業の健全な発達および消費者が安心してリフォームを行なうことのできる環境整備を目的に9月1日告示した「住宅リフォーム事業者団体登録制度」への認定を目指している。

5つのカンパニーによる 新事業モデルへ移行

LIXILは2015年4月1日から5つのカンパニーによる新しい事業モデルをスタートさせる。

「LIXIL Water Technology」(LWT)、「LIXIL Housing Technology」(LHT)、「LIXIL Building Technology」(LBT)、「LIXIL Kitchen Technology」(LKT)の4つのテクノロジーカンパニーと、日本の販売・サービスを担う「LIXIL Japan Company」(LJC)の5つのカンパニーが基本構造。

移行する目的として、グローバル化の加速、世界レベルでの人材活用、カンパニー間のシナジーによるLIXILの強みの最大化をあげる。とりわけ日本、中国、その他アジア地域における水まわり事業と、GROHE GroupとAmerican Standard Brandsの指揮系統を世界統合し、より速い意思決定、経営の効率化およびシナジーの加速をめざすLWTの立ち上げのために、当初計画を早めGROHE Groupを来年4月1日連結子会社化する。

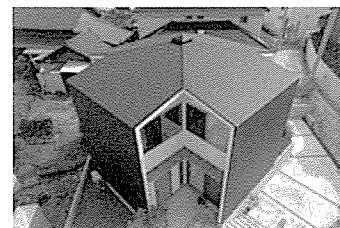
各カンパニーの売上高・営業利益率は、LWT売上高約6200億円・営業利益率10%以上、LHT約6000億円・約8%、LBT約3400億円・約3%、LKT中国と日本合わせて約1200億円、LJC約1兆円(4つのテクノロジーカンパニーの内日本での売上)をそれぞれ見込んでいる。

各カンパニーのCEOは、損益、バランスシート、資金管理の全責任を担う。長期的な戦略や短期業績を管理する最高意思決定機関としてGlobal Management Committee(GMC)は存続、5つのカンパニーのCEOと人事、財務、法務、広報、IT、R&DおよびCIGの責任者で構成する。

【環境・健康建材コーナー】

ケイミュー

「施工事例コンテスト」 最優秀賞の(株)ベツダイ (大分市)等29点表彰



ケイミュー(小森隆社長)は11月11日、奈良市の奈良県新公会堂で、「ケイミュー施工事例コンテスト2014」の表彰式を開催した。

応募総数1369点の中から、最優秀賞の「ユニタスクロスハウス」:(株)ベツダイ(大分市)、優秀賞の「グレイスコート山王」:阿部多不動産(株)(鶴岡市)、「箱崎の家」:柳瀬真澄建築設計工房(福岡市)など29点を選出、表彰した。



小森社長は、「前回の応募890点を上回る1369点もの応募をいただいた。とくに力を入れているリフォームに374点もの応募があった。ケイミューは“暮らしを守る、住まいを魅せる”をスローガンにしているが、これらの施工作品は、住まいを魅せる商品づくりを進化させていただいたと感謝している」と挨拶し、出席した受賞者を表彰した。

審査委員長の環境建築家・岸一氏は、それぞれの受賞作品の講評をおこなった。コロニアル遮熱グラッサ・CBウォール工法を採用した最優秀賞では、「最近雑誌などで見かける折り紙の建築とい

う手法。個性的で屋根と壁が一体となり統一感がある非常にクオリティの高い建築」と講評した。

LIXIL

次世代のスタンダードとなるパブリックトイレに来年15商品追加

LIXIL(藤森義明社長)は、次世代のスタンダードとなるパブリックトイレとして、新たに15商品をラインアップ、来年2月から順次発売を開始する。

新商品は、「国際的にも評価される衛生・清掃性のおもてなしトイレ」「環境負荷を軽減するエコ機能」「高齢化を支えるユニバーサルデザイン」の3つをコンセプトに、オフィス・商業施設向けや福祉・医療・幼児向けの商品を発売する。

オフィス・商業施設向け商品は、オート擬音内蔵、お掃除リフトアップ、キレイ便座、ノズルシャッターなどの節水・清掃機能をもつ「パブリック向けタンクレストイレ」をはじめ、通水時のみの瞬間加湿式のエコ機能を備えた「加湿自動水栓」(2015年5月発売)、意匠と安全性を両立させた「熱湯用水栓」、改修現場の水圧条件に対応する「多機能トイレパック」など、7商品を追加する。

福祉・医療・幼児向け商品は、ユニバーサルデザインに配慮し介護サポートする人にも優しい8商品を追加。「ケアサポート水栓付背もたれ」「はね上げ式前方ボード」「壁掛汚物流しパック」「幼児用暖房便座」等。

エアクリーニングウォール 「エコカラットプラス」など4 商品でグッドデザイン賞受賞

LIXILは、システムキッチン

「サンヴァリエ(アレスタ)」、エアクリーニングウォール「エコカラットプラス」、窓枠「カーテンレール付窓枠」、室内建具「グランドラインラフィス」の4商品で、2014年度グッドデザイン賞を受賞した。

その中のエアクリーニングウォール「エコカラットプラス」は、メンテナンスの提示が難しかったエコカラットの表層を二層にし、水や汚れが入り込みにくい構造にすることに成功したことが評価された。また、室内建具「グランドラインラフィス」は、建具枠と部品を可能な限り排除し、壁と同化したように見える建具の実現が評価された。

製品安全対策優良企業 表彰の「優良賞」を受賞

LIXILは、経済産業省主催の「第8回製品安全対策優良企業表彰制度」の大企業製造・輸入事業者部門において「優良賞」を受賞した。

今回、住設機器のメーカー保証としては最長の10年間の長期保証サービスの展開といった経年事故防止の取り組み、製品事故の様子を社内外へ公開する啓発活動の推進などの取り組みが評価されたもの。

コンタクトセンター・ アワードの「最優秀テ クノロジー部門賞」受賞

「LIXILお客さま相談センター」は、(株)CSKサービスウェアとSCSK(株)と共同で、「コンタクトセンター・アワード2014」(主催:株式会社リックテレコム)で、「最優秀テクノロジー部門賞」を受賞した。

応対品質が見える化・向上させながら、電話応対の入力作業を削減し、現場の改善により生産性を20%向上させた点が評価された。

「ガーデンルーム」「テラスルーム」対象の「庭 de 暮らしアップキャンペーン」12月29日まで

LIXILは、「庭 de 暮らしアップキャンペーン」を12月29日まで開催中。

期間中に対象商品の「ガーデンルーム」、または「テラスルーム」を購入した応募者の中から抽選で180人にガーデンファニチャーやロボット掃除機、高圧洗浄機、カタログギフトなどがプレゼントされるもの。

4 番目のメガソーラー「綾部太陽光発電所」着工、2015年7月稼働



LIXILは、京都府綾部市の綾部工場跡地を利用したメガソーラー発電施設「LIXIL綾部太陽光発電所」の建設に着工した。すでに「有明工場」「岩井工場」(それぞれ3.75メガワット)、須賀川工場(6.35メガワット)につづく、4番目の施設。

3月に経済産業省の「再生可能エネルギー固定価格買取制度(全量買取制度)」の設備認定を受けていたもの。2015年7月から稼働予定で最大発電量4.87メガワット、関西電力への売電を計画。なお、ソーラーパネル架台には、同社のアルミソーラー架台「ソーラーベ-

スプロ前柱タイプ」を採用した。

集合住宅用システムバスルーム「SOLEO」上質な入浴空間を追求しモデルチェンジ

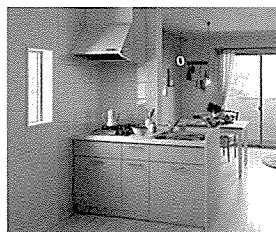
LIXILは、集合住宅用システムバスルーム「SOLEO(ソレオ)」のより上質な入浴空間を追求しモデルチェンジ、1 INAX ブランドから11月販売を開始した。

商品特長は、重厚なグレード感を生み出す400×600mmの大型パネル新柄6色、アクセントに最適なモザイクタイル3色を追加した。

鋼板パネルは、見る角度によって光や色に変化するデザイン4色、大理石柄3色、木目柄2色の新色計9色を追加し全47色。人造大理石浴槽「キレイ浴槽」に、ゴールドカラー3色を追加し全8色とバリエーションを強化した。

また、角度調節式シャワーフックなどメタル調アイテムを追加。グローエブランドの壁付水栓金具2種、8月発売の「スパージュ」で好評のくつろぎ機能「アクアタワー」も追加された。

コンポーネントキッチン「サンファニー<ティオ>」、扉デザイン・カラー36バリエーション



LIXILは、アパート・マンションから戸建住宅の新築・リフォームに対応するコンポーネントキッチン「サンファニー<ティオ>」をモデルチェンジし、扉デザイン・カラーを業界最多クラスの36バリエ-

ーションに拡充した。

小間口に対応するコンパクトキッチンで、賃貸住宅のリフォームや2世帯住宅のセカンドキッチンに最適。定番から最新トレンドまで様々な住空間に調和する多彩な扉バリエーション。シンク、調理台、コンロ下を引出しにした大容量収納可能な「トレイボード」、シンク中央部の奥行45.5cmを確保した「ラウンドシンク」なども特長。新たにオープン対面キッチンを追加し、壁付型キッチン、造作型対面キッチンと3つのレイアウトを用意した。

「エイジング加工」を施した新色5色と6ドアデザインの「ファミリーラインバレット」新発売

LIXILは、リビング建材の「ファミリーライン」シリーズに、“自分らしく、自分好みに、住まいを描く”という思いを込めて女性社員が企画・デザインした「ファミリーラインバレット」を新発売した。

特長は、木の素材感を活かした風合い、あえて刷毛塗りムラや使い込まれた風合いの「エイジング加工」を施した5つのカラーと6つのドアデザイン。

個性を引き立てる金物(アイアンブラックやガラス、アクセントパーツ、造作材を用意。室内ドアから玄関、クローゼットドアのバリエーション。

YKKAP

EXデザイン施工フォトコンペ、YKKAP大賞「株式会社neutral」(名古屋市)など受賞39作品を選出

YKKAP(堀秀充社長)は、第4回「エクステリアデザイン施工



フォトコンテスト」で、応募作品2120作品の中からYKKAP大賞「株式会社neutral」(名古屋市)をはじめ、5部門の金賞・銀賞・銅賞など39作品を選出した。

大賞作品はリレーリアのビルトインポスト、カーポート、壁面材マットパネル1型を使用した施工例。審査委員は、建物を念頭においてスペース配分と外構レイアウト、テクスチャーの変化を楽しめるコンポジションデザイン、ライン整理したディテールのコンセプトなど、3つのポイントを評価した。

3部門の金賞は、門、車庫まわり部門:株式会社橘(鳴門市)、窓、庭まわり部門:株式会社サンホーム、エクステリアリフォーム部門:グランド工房小倉店(北九州市)が受賞、ファミリー部門の大賞には株式会社庭衆(東京都渋谷区)が選出された。

「使い方&お手入れガイドブック 窓・ドア編」で2014年「マニュアルオブザイヤー」を初受賞

YKKAPの施主向け取り扱い説明書「使い方&お手入れガイドブック 窓・ドア編」が、「日本マニュアルコンテスト2014」(主催:一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会)で、窓メーカーとして初めて「マニュアルオブザイヤー」を受賞した。

受賞した「マニュアルオブザイ-

ヤー」は、10月16日に京都で開催された最終公開審査を経て応募作品52点のうち全部門から1点選出されたもの。

17種類の窓、14種類の網戸、7種類のドア・引戸の全種類について、使い方と手入れ方法を「1ページ・1項目」の統一したスタイルで図解をおおきく取り入れて見やすく説明していること。とりわけ安全上の注意事項についても、「1ページ・1項目」のスタイルが貫かれている点などが高く評価された。

高性能トリプルガラス樹脂窓「APW430」、第4回HEADベストセレクション賞受賞

YKKAPの高性能トリプルガラス樹脂窓「APW430」が、「第4回HEADベストセレクション賞」を受賞した。

同賞は、一般社団法人HEAD研究会が毎年選定しているもので、「優れた建築を生み出すことに貢献しうる、優れた建材・部品」に与えられるもので2011年度から毎年9~10製品が選定されている。YKKAPは2012年の「非溶接工法(高強度樹脂接合)」につづく2回目の受賞。

今回は、日本でフレームに樹脂を採用した窓で、一般品として最初に熱貫流率(U値)1.0を切り、この分野(樹脂窓)での先陣を切ったという点と、今後、木製建具や欧州製建具のようなさらなる高性能製品開発の期待を込めて選定された。

「製品安全対策優良企業表彰 経済産業大臣賞」

YKKAPは、「平成26年度第

8回製品安全対策優良企業表彰」の大企業製造・輸入事業者部門において「経済産業大臣賞」を受賞した。平成22年度につづき2回目の受賞。

同表彰は、「製品安全文化」の定着をはかる目的で行なわれているもの。今回、同社の「価値検証センター」(黒部市荻生)を活用した生活者検証の強化、複合的な環境要因にリスク検証、さらに「使い方&お手入れガイドブック 窓・ドア編」にみられる安全に使用・メンテナンスするための情報伝達などが受賞のポイントになった。

「YKKAP R&Dセンター」来年3月着工

YKKAPは、黒部事業所黒部荻生製造所内に建設を予定しているYKKAP技術の総本山としての「YKKAP R&Dセンター」建設概要を明らかにした。

来年3月14日開業予定の北陸新幹線「黒部宇奈月温泉駅」から車で約5分の同社黒部事業所内に建設されるオフィス。延床面積:約1万3000㎡。建屋:鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、地上2階建。収容人員:約370(中央研究所、開発本部、生産技術部等)。着工2015年3月、完工予定2015年12月、開設予定2016年4月。投資金額:外構を含め35億円。

三協立山

2014年度グッドデザイン賞受賞——高断熱樹脂窓「スマージュ」「トリプルスマージュ」、スライディングゲート「ライアーレ」、歩行補助車

三協立山(山下清胤社長)は、

高断熱樹脂窓「スマージュ」「トリプルスマージュ」と、スライディングゲート「ライアーレ」、富山大学と共同開発した「歩行補助車」の3商品で、2014年度グッドデザイン賞を受賞した。

「スマージュ」「トリプルスマージュ」は、シャープですっきりとしたバランスの実現と共に、機能性と心地良さの追求が評価された。「ライアーレ」は動きがスムーズで堅牢性があるすっきりとしたデザイン、鍵まわりの細かい配慮、リモコン電動設定の使い勝手の良さが評価された。「歩行補助車」は、3本のアルミフレームによるシンプルな作りで、安定性も高いすっきりとした印象と、車両の周辺も含めたシステムのデザインとしての完成度に期待できると評価された。

三協アルミ

「未来のとびらコンテスト」の表彰式を開催

三協立山株式会社・三協アルミ社(蒲原彰三社長)は11月8日、東京ステーションホテルで、全国の小学生を対象に開催した「未来のとびらコンテスト」の表彰式を開催した。



表彰式では、応募総数2015件の中から金賞を受賞した4組(1～3年生の部2組・4～6年生の部2組)の受賞者に、表彰状と記念品(ドラえもんぬいぐるみ2L)が家族出席の下に贈呈された。

席上、蒲原社長は「子供達の未来、建材の未来を描いた素晴らしい作品が多かった、作品に描かれたような未来に貢献できるように当社も頑張りたい」と挨拶した。なお、コンテストでは銀賞6名、特別賞6名も表彰された。

高性能省エネサッシシステム「ARM-Sアタッチメントシリーズ」に「HEADベストセレクション賞」

三協アルミ社の高性能省エネサッシシステム「ARM-Sアタッチメントシリーズ」が、第4回「HEADベストセレクション賞」を受賞した。

2003年に誕生した「ARM-S」は、2011年の第1回「HEADベストセレクション賞」を受賞している。今回は、より自由なデザイン納まりに対応するジョイント材・アタッチメントシリーズ(外断熱用アタッチメント・木造用アタッチメント・網戸用アタッチメント)での受賞。

小さな型材を追加することで製品バリエーションを充実させているユニークで合理的な手法。ベースとなるコンセプトやデザインを変えることなく、設自由度を広げる魅力的な製品と評価された。

建築基準法適合の公共施設向け格子内外装材「メイクスクリーンII」木目調不燃タイプ発売

三協アルミ社は、建築基準法に適合した公共施設向け格子内外装材「メイクスクリーンII」木目調不燃タイプを



売した。

軽いアルミ型材を芯材に高い耐候性・耐久性をもつオレフィンシートを複合させた不燃材。駅や学校などの公共施設向けの外装材としてだけでなく、内装材としても使用できる点が特長。

アルミ型材に設けた溝に六角ボルト(M8)をスライドして取り付けられる施工性のよさ、溝を同柄の目板で隠し全面意匠とできるデザイン性も特長。サイズは、格子断面60×30mm、90×30mm、120×30mm。参考価格:60×30mm、長さ6m、1本入りで1万2700円。

歩行者用補助すり「テスリーフ」にバリアフリー新法対応の新手すりエンド追加

三協アルミ社は、歩行者用補助すり「テスリーフ」のバリエーション追加・仕様変更をおこなった。

バリアフリー新法に対応した手すりエンドとして、現行品「Rエンド」に、新たに「支柱エンド」「Uエンド」「壁向きエンド」を追加。独立タイプ・2段手すりの標準高さを850mmに変更。トップレール納まりにフロンとレール納まりを追加。両面納まりにも対応。

意匠面では、独立タイプに支柱にスリムな直径48.6mmタイプを追加。同時にLED照明(ローボルト)内蔵の「LED支柱」を設定。また、直径34mmタイプ手すりに木目調塗装タイプに木粉入り樹脂カバータイプを追加し、木目調手すり2段仕様の場合の上下段手すりの意匠を統一した。

独立タイプ・壁直付けタイプ・ピュアライン仕様・通路シェルター仕様。カラーはマットシルバー色を廃止し、サンシルバー色を追加した。

高意匠アルミ内外装材の木目調タイプ「グレインシリーズ」発売

三協アルミ社は、外壁スクリーンや天井材などのアルミ内外装材として、木目調タイプ「グレインシリーズ」を発売した。

屋上設備や外部非常階段の目隠し・保護、立体駐車場の外壁スクリーン、バルコニーの腰壁、開口部の日除けとして使われる内外装パネル。各パネルは、縦張り・横張りが可能で、イメージに合わせた何種類かのパネルの組み合わせも可能。商業施設や病院、福祉施設などの公共施設向けに高級感と木の温もりを感じさせる個性的な意匠提案もおこなえる。

また、高いデザイン性と施工性の良さを活かして、古い外壁の全面リファインなど外観イメージアップの改装にも適している。カラーは、オールドファッションパイン、マロンノーチェ、ライトウォールナットの3色。

セイキ販売

断熱内窓「楽窓II」に使い勝手のよい業界初「上げ下げタイプ」発売

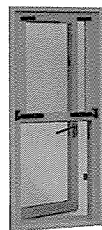
セイキ販売(守谷将人社長)は、断熱内窓「楽窓II」に新たに業界初の「上げ下げタイプ」を10月20日新発売した。2枚建て・3枚建て・4枚建て、FIXタイプにつづくラインナップ。

「上げ下げタイプ」は、木額縁の見込寸法36mmで取り付けられるほか、カーテンやブラインドを



設置しても開閉を妨げず、使い勝手を向上させたことが大きな特長。

パネルは、透明(2mm・3mm)、中空(4mm)、グレースモーク(3mm)、マットグリーン(3mm)のポリカーボネート5種類。枠はホワイト・木目ナチュラルの2種。熱貫流率(U値)はポリカ2mm透明仕様で2.71W/(㎡・K)。価格:幅500×高さ950mm、ポリカ3mmタイプ1万9100円。



東工シャッター

業界最小 300R施工が可能な「スクエアスリム」にフリーR対応可能な「I型レール」追加



東工シャッター(佐々木知也社長)は、昨年8月新発売した「イスターカーテンスクエアスリム」シリーズに「I型レール」を追加した「スクエアスリムSlim2」を発売した。

「スクエアスリム」は、店舗前管理用折りたたみ式扉で、従来のイスターシリーズよりも、框や蝶番部がスリムで視認性の高いことや、業界最小の300Rの施工が可能などことをセールスポイントに発売された。

今回の「I型レール」の追加によって、フリーR対応が可能になり、楕円形、円形など多彩な曲

線対応で店舗面積を最大限活用した自由設計を実現する。

框幅13mmのスリムで、従来品よりもたたみ幅を30%低減したコンパクト設計。片引き・引分けタイプ。直線納まり・曲線納まり(L型・C型・S型)。最大開口高3500mm・パネルピッチ200mm。カラーはシルバー・ホワイト・ブラック。はめ込み材にポリカクリア・ポリカクリア片面マット・グレースモーク・シルク調マットクリア・シルク調マットガラス色を用意。

「イスターカーテン」「グッドデザインロングライフデザイン賞」

東工シャッターは、1970年から販売している空間創造建材「イスターカーテン」で、「2014年度グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」を受賞した。

「イスターカーテン」は、ショップフロントをはじめ、幼稚園・病院・福祉施設などに用途を広げつつ、フルオープン・フルクローズ可能な折りたたみ式建具として進化をつづけている。

ニチハ

30年相当のロングメンテナンス化を実現した新世代外装材「フュージュ」Gマークを受賞

ニチハ(山中龍夫社長)は、新世代外装材「モエンエクセラード16フュージュ」で2014年度グッドデザイン賞を受賞した。

「フュージュ」は、シーリング劣化の問題点を解決する独自の新工法「ドライジョイント工法」を採用している。これにより左右の接合部にシーリング目地の入らないフラットな壁面を演出できるうえに、超耐候性塗料の採用で、お

よそ30年相当(1800時間)のロングメンテナンス化を実現した。

これによりメンテナンスコストは、一般戸建住宅で約250万円、2階建集合住宅で約700万円のコストダウンが可能と見積もる。

モザイクの躍動感と陰影を石灰岩の石肌テクスチャーで再現した「セルクレール」など全5柄のデザインバリエーション。価格:16mm厚、455×1820mmで4400円/枚(5313円/㎡)。

森田アルミ工業

新型忍び返し「AGx」でグッドデザイン賞受賞

森田アルミ工業(森田和信社長)は、10月新発売の新型忍び返し「AGx(エージーエックス)」で2014年度グッドデザイン賞を受賞した。

「AGx」は、防犯に必要な鋭利さを備えながらも、威嚇的に印象を抑え、街なみとの調和を図ったデザインが特長。先端部分を製作可能な最薄寸法で押し出したシンプルなX形状のアルミ型材を採用した。侵入者が手を入れにくいように、忍び返し1本1本の間隔を検討しつつ連続的に配置して街並みとの調和が図られている。

サイズ:幅1000×高さ100×奥行60mm。重さ:2kg。価格1ユニット(1m)1万円。

デスクパーティション「パティス」3色追加

森田アルミ工業は、工業デザイナー・村田智明氏主催のデザインブランド「METAPHYS(メタフィス)」と共同開発した、デスクパーティション「patis(パティス)」に、新色のアッシュホワイト、ブルーグ

リーン、ダークブラウンの3色を追加した。グレーと合わせて全4色展開。

「patis(パティス)」は、フロア型システムパーティション「falce」につづき発売されたスタンド型デスクパーティションで、一人ひとりに快適なパーソナルスペースを確保できることが特長。

大建工業

低コスト・短工期を可能にした熱伝導率の高い独自基材採用のリモデル用床暖房仕上げ材「サーモプラス」新発売

大建工業(億田正則社長)は、リモデル用床暖房仕上げ材「サーモプラス」を11月21日新発売した。従来の床暖房仕上げ材の上から貼るだけで、低コスト・短工期での床暖房リフォームができることがセールスポイント。通常のリモデルよりも約35%コストダウン。

「サーモプラス」は、熱伝導率の高い基材を用いた3.5mm厚の上貼り用床材。設定温度を変えなくてもリフォーム前とほぼ同等の床暖房性能を維持できる独自の無機基材(合板や木質繊維版の2倍以上の熱伝導率)を採用している。

また、既存の床暖房仕上げ材や床暖房パネルの撤去、下地の調整作業、新しい床暖房パネル施工、仕上げ用床材施工といった、これまでのリフォーム作業を大幅に削減でき1日で完了できる。キャストや車椅子の使用可能な耐傷性能も特長。

多摩産スギ材活用の施設向け床材2種、「多摩産材利用開発事業」認定

大建工業は、東京都が助成す

る「多摩産材利用開発事業」に、多摩産スギ材と活用した施設向け床材2種を応募、助成の対象事業に認定された。

認定された床材は、多摩産スギを使用した表面化粧単板に独自のWPC加工処理(木材組織の空隙にプラスチックを注入・硬化させる処理)をおこない、合板基材と合わせることでハイヒールや傘による凹み傷や水濡れ、泥などの汚れに対する強さを実現した土足用床材。

「コミュニケーションタフII DW 艶消し仕上げ」(基材:Wハードベス付裏溝加工合板)、「WPC直張りフロア」(基材:国産トドマツ合板)の2種。多摩産スギを利用した床材の普及・拡大を促進するために、多彩な木材製品を常設展示、「都市での木づかい」をPRする「FOODARTS STUDIO KACHIDOKI」の木質化プロジェクト(公益社団法人国土緑化推進機構)に、同床材150㎡を施工した。

高千穂シラス

表層材に消臭機能をもつ自然素材・シラスを使用した内装クロス材「リフレッシュ」発売

高千穂シラス(新留昌康社長)は、天然のマグマセラミック・シラスを活用した内装クロス材「リフレッシュ」を新発売した。

表層材に消臭機能をもつ自然素材・シラス(0.4mm厚)を使用した壁紙。タバコやペットなどの臭いや生活臭を消し去ることができるため、リビングや客間、寝室、書斎、子供部屋、トイレなどに効果的な壁材。

特集1: 断熱Ⅲ地域以南向けの次世代スタンダード商品として育成急ぐ「アルミ樹脂複合窓」/断熱サッシの普及品としてのポジション確立狙う「アルミPGタイプ」

世界トップクラスの断熱性能を有する高性能断熱樹脂窓の開発相づく、「アルミ樹脂複合窓」「樹脂窓」へ転換

4-9月上旬半期新設住宅着工戸数は44万1367戸と前年比11.6%減少した。同じく床面積は15.7%減少。2014年度新設住宅着工戸数は88万戸と予測されている。駆け込み需要の反動が予想よりも長引いているため、前年比2ケタ台の減少が避けられそうにない。

利用関係別には、持家21.6%減、貸家0.3%減、給与住宅38.3%増、分譲住宅13.6%減。分譲住宅のうち、マンションは21.5%減、一戸建6.0%減となった。

その一方で、エコ・省エネ住宅づくりの拡大を図るために、省エネ基準改正と2020年義務化に向けての動きが加速している。住宅の断熱性能の向上は建物全体の断熱化が必要になるが、どうしてもエネルギーロスの大きい部位とされる開口部の断熱化対策に注目が集まる。

こうした中で住宅用窓大手3社は、次世代スタンダード商品づくりを急いでいる。YKKAPが日本の窓の30%を樹脂窓に転換する方針を打ち出した。LIXILは2020年に樹脂窓とアルミ樹脂複合窓の比率を70%に高めるとの事業戦略を明らかにしている。三協立山はアルミ樹脂複合窓を主力商品に住宅用窓の断熱化を推進するとしている。大手3社の断熱窓開発に対する考え方は、日本の窓スタイルをアルミ窓からアルミ樹脂複合窓、樹脂窓への転換を促進することになる。

2013年度新設住宅用総窓数のうち「樹脂窓」シェア9.8%、大都市圏をかかえる首都圏以南への浸透を強化

国内の窓・サッシ市場は、2013年度新設住宅(一戸建+長屋建)の床面積から約1200万窓と推定される。昨年度の販売実績から外窓スタイルを推定すると、「樹脂窓」約118万窓・シェア9.8%、「アルミ樹脂複合窓」約365万窓・シェア30.4%、「アルミPG」約639万窓・シェア53.2%、「アルミS

Gその他」約78万窓・シェア6.6%と推定される。前年度に比べて、「樹脂窓」がシェアアップする一方で、「アルミ樹脂複合窓」と「アルミPG」がシェアを落している。

窓・サッシの高断熱化の動きは、新設住宅において一般複層ガラスから高性能Low-E複層ガラスの採用に関心が移りつつあることにも見て取れる。高性能Low-E複層ガラスは、「樹脂窓」「アルミ樹脂複合窓」を中心に採用されており、おおくても新設住宅の40%程度にとどまっている。高性能Low-E複層ガラス、トリプルガラスの採用が、世界トップクラスの断熱性能を有する「高性能窓」の開発には不可欠になっている。空気層16mmでアルゴンガス入り仕様・クリプトンガス入り仕様などの高断熱Low-E複層ガラス仕様、トリプルガラス仕様、真空トリプル仕様など、様々な窓が登場している。

大手3社が、相次いで世界トップクラスの断熱性能を有する高性能樹脂窓を発売・発表したこともあって、樹脂窓の更なる拡大が予想される。断熱地域別にみても、I・II地域の主力商品であることは間違いないが、今後、アルミ樹脂複合窓の主力マーケットであるⅢ地域、さらには首都圏をはじめ大都市圏をかかえるⅣ・Ⅴ地域へどこまで浸透できるか注目される。

積雪地域の北海道、東北6県、さらには北関東3県(茨城、栃木、群馬)、北陸4県、山梨・長野・岐阜の3県を合わせた窓総数は約315万窓、全国の30%弱を占めており、「樹脂窓」への潜在需要は決して小さくない。これらに遮熱対策としての高性能樹脂窓への需要を加えると、世界の住宅用窓の主流である「樹脂窓」が、日本国内でも拡大する可能性は小さくない。

「アルミ樹脂複合」販売窓数約365窓、住宅用窓総数の30.4%占める、Ⅲ地域からⅣ・Ⅴ地域に徐々に浸透

いまのところ高断熱窓・サッシの主力商品は、「アルミ樹脂複合」タイプである。2013年度販売窓数は約365万窓と、前年比3%程度の伸びにとどまっ

た。住宅用窓全体の30.4%と推定される。

LIXILが約215万窓(7.5%増)、YKKAPが約94万窓(横ばい)、三協立山が約60万窓(横ばい)と、LIXILだけが前年実績を上まわった。これまでの急成長に若干、ブレーキが掛かりつつある。ただ、LIXILと三協立山は、アルミ樹脂複合窓を次世代スタンダード商品として位置づけており、樹脂窓とアルミPGサッシの両分野への浸透を図っている。

断熱地域別には、Ⅲ地域を主力にⅠ・Ⅱ地域、Ⅳ・Ⅴ地域に展開する。LIXILがⅠ・Ⅱ地域、Ⅲ地域向けと、Ⅳ・Ⅴ地域向けの販売はほぼ50対50、YKKAP48対52、三協立山35対65の販売割合。

アルミ樹脂複合窓のもうひとつのセールスポイントであるインテリア性・樹脂カラーは、LIXILはホワイトが60%強を占める。YKKAPはホワイト40%強、木調40%弱、アルミ同系色20%弱の比率。三協立山はホワイト系55%、ナチュラル系20%、クリアライト系15%、ダーク系10%の比率。内装建材とのカラーコーディネートがしやすいホワイトが主力にしつつ、徐々に多色化が広がりつつである。

「アルミPG」販売窓数約639万窓、住宅用総窓数53.2%占める主力商品、断熱サッシ普及品として展開

「アルミPG」タイプの2013年度販売窓数は、約639万窓、前年比8.9%増と推定される。住宅用窓全体の53.2%を占める主力商品として展開する。

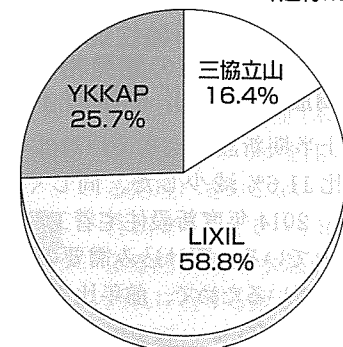
LIXILが約340万窓(前年比11.5%増)、YKKAPが約211万窓(8.8%増)、三協立山が約88万窓(横ばい)と推定される。

断熱地域別には、LIXILがⅢ地域14%、Ⅳ・Ⅴ地域86%と、文字通りボリュームゾーンをカバーする主力商品として展開する。YKKAPがⅢ地域15%前後、Ⅳ・Ⅴ地域85%前後の販売比率。三協立山がⅢ地域5%、Ⅳ・Ⅴ地域95%とほぼⅣ・Ⅴ地域に浸透する。

外窓アルミカラーは、LIXILがシャイングレー50%強、YKKAPがプラチナステン56%、三協立山がシャングレー55%を主力カラーとして展開する。依然としてステン・グレー系の人気が衰え

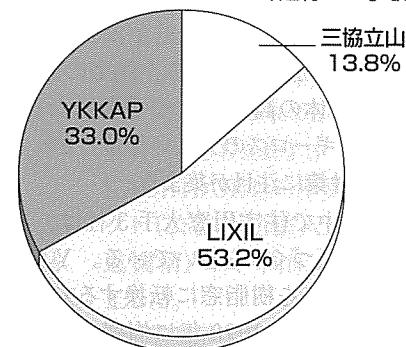
2013年度 アルミ樹脂複合窓 売上窓数約365万窓(推定)

「建材navi」調べ



2013年度 アルミPGタイプ 販売窓数約639万窓(推定)

「建材navi」調べ



を見せていない。

アルミ樹脂複合窓と同様に、大都市部向けの「防火窓」が品揃えされたこともあって、断熱窓の普及品としてのポジションを堅持していくとおもわれる。

「装飾窓」販売窓数約474万2000窓、前年比5.4%増にとどまり、依然として引違い窓50%超の壁を超えられず

一方、「出窓・装飾窓」の2013年度販売窓数は約474万2000窓、前年比5.4%増と推定される。樹脂窓を除く総窓数の47.2%を占めているが、「アルミ樹脂窓」や「アルミPG」全体の伸び率を下まわっており、なかなか50%を超える引違い窓の壁

を超えられないようだ。

LIXILが約270万窓(前年比8.4%増)、YKKAPが約146万窓(4.3%増)、三協立山が約58万2000窓(横ばい)と推定される。

窓種別には、LIXILが開き窓40%弱を主力に展開。すべり出し窓、FIX窓がそれぞれ20%弱、上げ下げ窓15%弱が主力窓種。YKKAPがすべり出し窓54%を主力に、FIX窓20%弱、上げ下げ窓15%、FIX窓20%弱を主力にする。三協立山が開き窓40%を主力に、上げ下げ窓、FIX窓、すべり出し窓16～14%が主力窓種。

三協立山

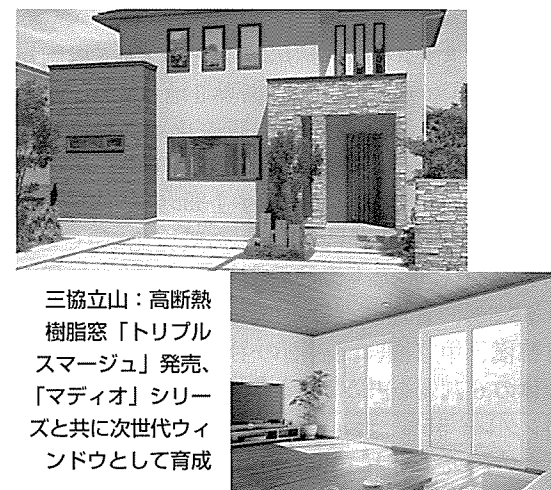
業界トップクラスの高断熱樹脂窓「トリプルスマージュ」/「スマージュ」、次世代ウィンドウとして育成

【商品構成】■新商品——◆高断熱樹脂窓「トリプルスマージュ」/断熱樹脂窓「スマージュ」：今年4月新発売。「トリプルスマージュ」の熱貫流率0.86W/m²・K(Low-E3+A10+3+A10+Low-E3クリプトンガス入りのたてすべり出し窓グレモンFIX一片袖窓タイプ)。「スマージュ」の熱貫流率1.40W/m²・K(3+A16+Low-E3アルゴンガス入りのたてすべり出し窓グレモンFIX一片袖窓タイプ)。

従来品「アルペンPL」よりもガラス接着技術の採用により枠+框を21%スリム化、採光率を約17%アップ。枠と障子の気密性を高める風止板やシールピスを設置。障子上框と戸当り框にモヘア、下框にタイト材をそれぞれ二重に施したダブルエアタイト構造。召し合せ部に二重ヒレのタイト材と煙返し構造で気密性をアップ。外観色にホワイト・シャングレー・ホットブラウン・ブラック・木調色の全5色、内観色ホワイト色。

■重点商品——□次世代住宅用サッシ「マディオシリーズ」：◆アルミ樹脂複合サッシ「マディオJ/M」：断熱枠(型材断熱)+断熱障子(アルミ樹脂複合)と、樹脂アングル採用の標準M枠+断熱障子の2タイプ。外観アルミ6色と内観木調5色・メタルカラー4色。◆アルミPGサッシ「マディオP」：標準M枠+複層ガラス障子。結露防止用の樹脂アングルに4色。

■「防火サッシF型」——◆「アルミ樹脂複合タ



イプ」と「アルミPGタイプ」。引違い窓をはじめたてすべり出し窓、片上げ下げ窓、開き窓、外倒し窓、FIX窓、勝手口ドアなど家1棟分をフルラインアップ。

■出窓・装飾窓——◆「マディオシリーズ」にフルラインアップ。◆「アクセントシリーズ」(プチ窓、たてスリム窓、横スリム窓、丸窓FIX等)。◆大開口サッシ「ビューアート」(断熱ドライ構造。見付27.5mmのスリム框。最大高さ2700×最大幅5500mm)。◆採風段窓「ウインクロス」(開き勝手の異なる窓を上下に配置した給気・排気をひとつの窓で実現)。◆採風格子窓「ウインカム」(天候に左右されず採風できる木調ガラリ格子。テラスタイプも用意)。◆大採光すべり出し窓「グランフレム」。

■樹脂サッシ外窓「アルペンPL」/トリプルアルペン」/樹脂サッシ内窓「プラメイクE」(複層ガラス仕様と単板仕様、全5色)。

【最近の動き】業界トップクラスの断熱性能を実現した断熱等級H-5の樹脂窓「トリプルスマージュ」と「スマージュ」を新発売し、断熱等級H-3のアルミ複合サッシ「マディオJ」、H-1のアルミPGサッシ「マディオP」と共に基幹商品の体系を整備した。

その中でも新商品の樹脂窓「トリプルスマージュ」と「スマージュ」は、今後予想される寒冷地住宅の更なる高断熱化の要求にこたえるスタンダードウィンドウへの成長が期待されている。すでに新設戸建住宅の複層ガラス採用率はほぼ100%といわれ、ワンランク上の断熱性能をもつLow-E複層ガラスの採用率も、戸建住宅40%、集合住宅10%と増

加傾向にある。

次世代スタンダードサッシのひとつアルミ樹脂複合サッシ「マディオJ」は、断熱Ⅱ地域5%、Ⅲ地域30%、Ⅳ・Ⅴ地域65%の販売比率。Ⅲ地域以南向けの基幹サッシとして展開されている。樹脂カラーは、ホワイト系55%、ナチュラル系20%、クリアライト系15%、ダーク系10%の販売比率。

アルミPGサッシ「マディオP」は、Ⅳ・Ⅴ地域向け95.5%、Ⅲ地域向け4.5%と大都市部を抱える首都圏、中京圏、関西圏の主力サッシとして販売全体の6割弱を占めている。外窓カラーは、シャンパングレイ55%、ホットブラウン15%、サンシルバーとホワイトそれぞれ10%ずつ、ブラック5%の比率。

一方、装飾窓はほぼ横ばいで推移した。窓種別には、開き窓40%を軸にF I X窓と上げ下げ窓がそれぞれ16%、すべり出し窓14%、ルーバー窓5%、その他では天窗、内倒し、外倒し、オーニングなどが9%を占める。販売全体の4割程度で引違い窓との比率に大きな変化はない。

窓リフォーム市場は、優良ストック住宅の開発・促進との国策もあって今後の拡大が見込まれる。そのアイテムのひとつである樹脂内窓「プラメイクE」は、緩やかながらも拡大基調をつづけている。今年度も前年比60%強の増加を見込んでいる。

L I X I L

高性能樹脂窓「エルスターX」、樹脂窓並みの高性能ハイブリッド窓「サーモスX」を来年1月から全国発売開始

【商品構成】■新商品——◆高性能ハイブリッド窓「SAMOS X (サーモスX)」: 2015年3月1日発売開始予定。アルミ樹脂複合窓で樹脂窓並みの断熱性能(熱貫流率) 1.05 W/m²・K (縦すべり出し窓TF内外Low-Eクリプトンガス入りトリプルガラス仕様) 実現。◇特長——「スマート・シナジーシステム」採用、室内側樹脂部分の中空層を多層化、サーマルブレイク構造の枠断熱採用、トリプルガラスに特殊薄板ガラス(1.3mm厚)を採用しLow-E複層ガラスと変わらない重量を実現。◆高性能樹脂窓「ERSTER X (エルスターX)」: 2015年1月1日発売開始予定。断熱性能0.79 W/m²・K (縦すべり出し窓TFダブルLow-Eクリプトンガス入りトリプルガラス仕様) 実現。◇特長——

スリムなフレームでガラス面積約10%拡大、見込寸法81mmと従来比1.8倍に大きくして高断熱性能と高強度を両立、中空層を多層化。樹脂スペーサー標準、内外Low-Eクリプトンガス入りのトリプルガラス仕様・内外Low-Eアルゴンガス入りトリプルガラス仕様・片側Low-Eアルゴンガス入り複層ガラス仕様。

■重点商品——□次世代スタンダードウィンドウ「サーモスⅢ」: フレーム・複層ガラス一体化技術の「スマート・シナジーシステム」と、ガラス面積を15%拡大する「フレームイン構造」、サーモスⅡ専用グレチャン付複層ガラスを採用。空気層16mm・総厚22mmガラス仕様。◆「サーモスⅡ-H」(アルミ樹脂ハイブリッド構造。外観5色・内観5色)。◆「サーモスⅡ-S」(アルミ構造。外観内観同色5色)。

□防火窓「FGシリーズ」——◆「防火戸FG-H」(アルミ樹脂複合窓・断熱Ⅰ・Ⅱ地域以南対応)。◆「防火戸FG-S」(断熱Ⅲ地域以南対応)。◆「防火戸FG-F」(空気層16mmの高断熱アルミ樹脂複合窓。市・Ⅱ地域以南対応。枠出幅65mmで樹脂窓マイスターⅡと併用可能)。

■窓・サッシ体系——◆樹脂外窓「マイスターⅡ」。◆防音断熱内窓「インプラス」「インプラスウッド」。◆アルミ樹脂複合窓「シンフォニーウッディ」(内観色木目系3色) / 「シンフォニーマイルド」(内観色アルミ同系色4色+ホワイト)。◆アルミスタンダードサッシ「デュオPG」(樹脂アングル仕様)。

□装飾窓——◆「サーモスⅡ」「シンフォニーウッディ」「シンフォニーマイルド」「デュオPG」に各種品揃え。◆デザイン窓: 「SINPLE art EX」(枠樹脂・障子アルミで断熱Ⅰ・Ⅱ地域以南に対応。室内から枠のみえないフルフラットフェイスが特長。突き出し窓・F I X窓等) / 「SINPLE art EX Ⅱ」(アルミ樹脂複合構造でⅢ地域以南に対応。スクエア・スリットのF I X窓、突き出し窓、サークルのF I X窓・突き出し窓、ガラスブロック等)。◆大開口サッシ「WIDE WIN」(最大H2830×W3600mm。フレームレス構造、框内蔵クレセント)。◆「OPEN WIN」(窓が壁の外側に納まる構造。フルオープンスライディングタイプとフォールディングタイプ)。◆「ノンレールサッシ」(引違い窓) 等。

【最近の動き】 世界トップクラスの断熱性能を



リーク...樹脂窓並みの断熱性能を持つ高性能ハイブリッド窓「サーモスX」

世界トップクラスの断熱性能を誇る高性能樹脂窓「エルスターX」



現した高性能樹脂窓「エルスターX」を来年1月1日から、樹脂窓並みの断熱性能をほこる高性能ハイブリッド窓「サーモスX」を来年3月1日から新発売する。2020年までに樹脂窓+アルミ樹脂複合窓の販売比率を70%までに高めるとの目標を実現する主力商品として大きな期待が寄せられている。とりわけ内外Low-Eクリプトンガス入りトリプルガラス仕様で樹脂窓並みの断熱性能(熱貫流率)1.05 W/m²・Kを実現した「サーモスX」は、断熱Ⅰ・Ⅱ地域から対応可能なアルミ樹脂複合窓として注目される。

2012年12月から展開する次世代スタンダードウィンドウ「サーモスⅡ」シリーズは、アルミ樹脂複合構造の「サーモスⅡ-H」と、アルミ構造の「サーモスⅡ-S」の2タイプ。大都市圏に対応する防火窓FGシリーズの「FG-H」(アルミ樹脂複合構造)と「FG-S」(アルミ構造)もいち早く品揃えした。

アルミ樹脂窓は、「サーモスⅡ-H」を主力商品に「FG-H」、「シンフォニーウッディ」、「シンフォニーマイルド」を品揃えする。断熱地域別には、Ⅰ・Ⅱ地域6%、Ⅲ地域44%、Ⅳ・Ⅴ地域50%の販売割合。Ⅲ地域やⅠ・Ⅱ地域向けの販売比率が高いことが特長。樹脂カラーは、木調色やアルミ同系色を品揃えしているが、ホワイトが60%強を占めている。

アルミPGサッシは、「サーモスⅡ-S」「FG-S」「デュオPG」を展開する。断熱地域別には、Ⅲ地域14%、Ⅳ・Ⅴ地域86%と、首都圏から西日本地域をカバーする主力商品として展開される。外

窓カラーは、シャイングレー50%強を軸に、オートムブラウン・ブロンズ20%、ナチュラルシルバー10%強、ホワイト10%強、ブラック5%の比率。

一方、装飾窓の窓種別は、開き窓40%弱、F I X窓20%弱、すべり出し窓20%弱、上げ下げ窓15%、ルーバー窓その他15%の販売比率。

さらに、窓リフォームでは、外窓交換用リフォーム部材「リフレムⅡ」を新発売するなど、施工性の向上に取り組んでいる。防音断熱インテリア内窓「インプラスウッド」「インプラス」と共に、窓の断熱リフォーム需要の取り込みを強めている。

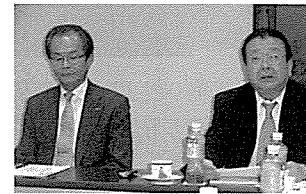
Y K K A P

トリプルガラス樹脂窓「APW 430」、防火樹脂窓「APW 330 防火窓」など「APW」シリーズの全国展開に注力

【商品構成】■新商品——◆高性能トリプルガラス樹脂窓「APW 430」: 熱貫流率0.91 W/m²・K (日射遮蔽型ダブルLow-Eトリプルガラス・空気層16mm2層アルゴンガス封入仕様のタテすべり出し窓+F I X連窓)。熱貫流率1.17 W/m²・K (日射取得型シングルLow-Eトリプルガラス・空気層16mm2層アルゴンガス封入仕様のタテすべり出し窓+F I X連窓)。スリムなフレーム見付、フラットコーナー、ラウンドエッジを採用した意匠。ウインドキャッチ連窓、枠に納まるコンシールタイプの新機構ハーフロックなどを設定。外観色3色・内観色ホワイト)。◆防火樹脂窓「APW 330 防火窓」(遮炎性能EB認定品): APW330/APW430と見付を統一した66mmのスリムフレーム。熱貫流率1.95 W/m²・K (たてすべり出し窓の網入6.8+A12++Low-E3mmガスなし仕様)。窓種にたて迂り出し窓、F I X窓、シャッター付引違いテラス戸手動、開き窓テラス窓。外観3色×内観4色の12通り。◆関連商品——◆「APW 330」(樹脂スペーサー仕様を追加)。◆「APW真空トリプル」(熱貫流率1.09 W/m²・K。引違い窓・片引き窓・両袖片引き窓。APW 430と併用)。

■重点商品——◆アルミ樹脂複合窓「APW 310」: 「APW 330」と同等の窓種バリエーションを揃えた断熱Ⅲ地域以南向けの主力商品。外観4色、内観木調4色・アルミ同系色3色。◆「APW 311」: 引違い窓テラス戸。◆「APW 410」: 窓種は

今年度総生産台数14万5000台、前年度比0.7%増と予測、下半期に首都圏の旺盛な需要増で昨年並みを見込む



右：三代洋右会長
左：横山雄二総務部会長

全国自動ドア協会（三代洋右会長）は11月28日、東京・芝弥生会館で業界紙記者懇談会を開き、2014年度総生産台数は14万5000台、前年度比0.7%増との予想を明らかにした。内訳は、国内向け12万7000台、輸出1万8000台。

消費税増税の駆け込み需要の反動で4月以降落ち込んでいた国内向け生産が、下半期に首都圏を中心にした再開事業にともなう旺盛な需要で昨年度並みの生産台数を見込めること、同時に海外向け生産で若干の増産が見込めることから前年度比微増と予測。

また、来年3月1日付発行予定で、協会基準の「品質基準」「施工基準」「保守基準」の改定・見直し作業を進めると同時に、引戸・開き戸・回転ドア・折戸を含めた自動ドア全般のJIS安全規格化を図るために、「JIS安全規格化作業部会」を立ち上げ、日本規格協会の「JIS原案作成公募制度」に応募したことも明らかにした。

自動ドアの安全への取り組みでは、今年度は「戸袋への進入」「引き込まれ」「指挟み」などの事故で大半を占める6歳未満の未就学児を対象にした安全対策を検討している。同時に、自動ドア使用者に対する「自動ドア安全ガイドライン」および「多機能トイレ用自動ドア安全ガイドライン」の啓蒙活動を継続する。

厚生労働省認定国家資格「自動ドア施工技能士」の2013年度技能検定では、1級技能士119人、2級技能士75人の計194人が合格。現在、累計では1級技能士3052人・2級技能士3073人の計6125人となった。今年度受験申請者は1級技能士157人・2級技能士114人の計271人。2009年から始めた優秀自動ドア施工技能士表彰制度は、今年第6回表彰式を行ない21人が表彰された。累計表彰者は133人。

「APW330防火窓」アイテムを6商品から14商品に拡充、関東・関西・中部の大都市圏で樹脂窓を浸透

YKK AP（堀秀充社長）は、「APW330防火窓」のアイテムを6商品から14商品に拡充し、大都市圏への樹脂窓提案を強化する。2016年度に売上高40億円目標。

関東・関西・中部などの大都市圏では、大臣認定防火設備が窓数全体の約2割程度必要とされており、今年4月新発売した「APW330防火窓」も計画を上まわる販売実績を続けている。こうした防火窓ニーズに対応してアイテムの大幅な拡充を図るもの。

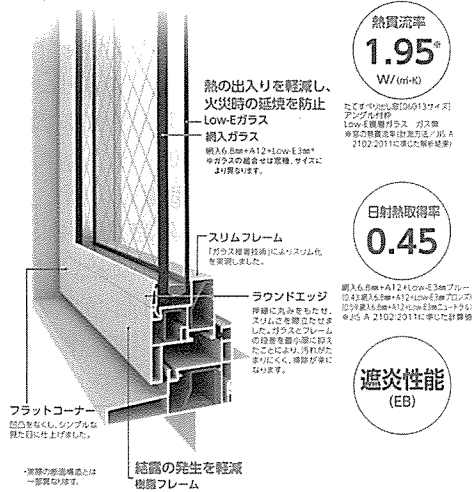
追加アイテムは、10月27日からアングル付枠／無枠の片上げ下げ窓（単体・面格子付）、アングル付枠の電動シャッター付引違い窓／テラス戸の3アイテムを発売。来春までにアングル付枠／無枠の引違い窓（単体・面格子付）、たてすべり出し窓＋FIX連窓、よこすべり出し窓＋FIX連窓、開き窓テラス（非常用進入口対応）、FIX窓（テラスサイズ）を順次発売する。

「APW330防火窓」は、遮炎性能を有する防火設備（EB）を取得し、耐火／準耐火建築物に適用しており、低層から中層（3階建）までの戸建住宅に採用できる。断熱性能は、Low-E網入複層ガラス（室内側ガラスの位置側にLow-E膜3色）仕様で熱貫流率2.33W／（㎡・K）以下の省エネ建材等級・最高等級4つ星適合品。樹脂フレームの内観カラーにホワイト・ナチュラル・クリア・ダークブラウンの4色。外観色はホワイト・プラチナステン・ブラウンの3色。ガラスにブルー・ブロンズ・ニュートラルの3色。

「APW330 樹脂スペーサー仕様」発売、断熱性能約13%アップ

YKK APは、「APW330 樹脂スペーサー仕様」を10月発売し、ボリュームゾーンにおけるラインアップを強化した。Low-E膜を3種類（3色）ラインアップ、日射遮蔽型と日射取得型のどちらにも対応。2015年度売上高10億円目標。

アルミスペーサー仕様に比べて、断熱性能が約13%アップしたことで、東京周辺において年間の冷暖房費およびCO₂排出量をアルミPG窓によりも約29%削減できる。



YKK AP:防火樹脂窓「APW330 防火窓」を発売し大都市での樹脂窓浸透をサポート

「ウインスターシリーズ」のスクエアのFIX・突き出し・大型突き出し、たてスリットFIX、すべり出し、横スリットFIXなどの各種。オーニング窓、引違い窓外付型等。◆「APW411」：引違いテラス戸外付型、通風ドア、勝手口ドア等。

■「防火窓Gシリーズ」——◆「アルミ樹脂複合」：樹脂複合枠・樹脂複合障子構造。ガラス溝幅26mm・Low-E複層ガラス仕様で断熱Ⅰ地域から対応可能。内観色に3色・アルミ木目調3色・アルミ同系色5色。◆「アルミ複層」：樹脂複合枠＋アルミ複層障子の構造。網入6.8＋A12＋Low-E3mm複層ガラス仕様で断熱Ⅲ地域以南、一般複層ガラス仕様でⅣ・Ⅴ地域以南にそれぞれ対応。

■住宅用サッシ——◆アルミ樹脂複合サッシ「エピソード」／「エピソードType S」（断熱Ⅲ地域以南の主力サッシ。枠見込86mm・ガラス溝幅26mm）。◆「エピソードHD」（断熱Ⅰ・Ⅱ地域向けのアルミ樹脂複合サッシ）。◆樹脂アングル下枠形材断熱サッシ「エイピアJ」（エピソードと同じ枠見込・ガラス溝幅。断熱Ⅳ・Ⅴ地域向け）。◆樹脂アングルアルミサッシ「フレミングJ」（結露防止用樹脂アングルを採用。断熱Ⅳ・Ⅴ地域向けの主力サッシ）。◆樹脂サッシ「プラマードⅢ」／エコ内窓「プラマードU」（木目3色、ホワイト・ダークブラウン・グレイの計6色）／「Lite U」（見込40mm）。

■出窓・プロジェクト窓——◆「エピソード」／「エイピアJ」／「フレミング」の各シリーズにフルラインアップ。◆新空間提案窓「ウインスターシリーズ」（スク

エアFIX窓、たてスリットFIX窓、横スリットFIX窓、三角・菱形・丸形のFIX窓、突き出し窓、すべり出し窓、ガラスブロック窓等）。

【最近の動き】「日本の窓の30%を樹脂窓に転換する」との目標を掲げて、「APW330」を軸に次世代スタンダードウィンドウのバリエーション化を進める。「APW330 防火窓」の設定は、首都圏以南の都市部における高性能樹脂窓の浸透に大きな役割を果たすものとみられる。すでに複層ガラス採用率がほぼ100%に近づいており、より高い断熱性能を得られるLow-E複層ガラス・トリプルガラスを採用した商品の拡大に力が注がれている。その主力商品としての「APW」シリーズの全国展開が急がれている。

アルミ樹脂複合窓は、「APW310」「APW410」をはじめ、「エピソード」「エピソードType S」「エピソードHD」「防火窓Gシリーズ・アルミ樹脂複合」の多彩なバリエーション。断熱地域別にみると、Ⅱ地域3%、Ⅲ地域44%、Ⅳ・Ⅴ地域52%の比率。樹脂窓の南下と共にⅢ地域からⅣ・Ⅴ地域へとシフトしつつあるようだ。

樹脂カラーの販売は、ホワイト43%を軸に木調のナチュラル・クリア・ダークブラウン・キャメル38%、アルミ同系色プラチナステン・ブラウン・ブラック・ピュアシルバー19%の比率。

アルミPGサッシは、樹脂アングル下枠形材断熱サッシ「エイピアJ」、樹脂アングルアルミサッシ「フレミングJ」、「防火窓Gシリーズ・アルミ複層」を品揃えする。断熱地域圏別にみても、Ⅲ地域13%、Ⅳ・Ⅴ地域87%と大都市圏をかかえるⅣ・Ⅴ地域の主力商品として展開される。外窓カラーは、プラチナステン56%、ブラウン16%、ホワイト11%、ブラック6%の販売割合。

一方、プロジェクト窓は、新空間提案窓「ウインスターシリーズ」を主力商品に展開。「APW410」「エピソード」「エイピアJ」「フレミングJ」などに品揃え。窓種別には、すべり出し窓54%、FIX窓18%、上げ下げ窓15%、ルーバー窓7%、開き窓5%、その他1%の販売比率。

窓リフォーム需要には、エコ内窓「プラマードU」をはじめ、外窓交換のスマートカバー工法・リモデルウィンドウなどを主力商品に、「MADOショップ」による高断熱リフォーム提案として展開する。

全国約1000店の「MADOショップ」 “温活”プロジェクト2014]実施中

YKKAPは、全国約1000店のMADOショップで「MADOショップ“温活”プロジェクト2014]を実施中。

美容業界や食品業界で注目をあつめている“温活”取り組みを、住宅・リフォーム業界の立場から提案するもので、女優の室井滋さんを起用した新CM「窓は、リフォームできる。」ことを全国に発信している。MADOショップでは、プロジェクトを通じて断熱対策以外の防露対策、日射対策、防音対策、防犯対策での提案活動を進めている。



環境省が賛同する「熱中症予防声かけプロジェクト」 の「ひと涼みアワード2014」で最優秀企画賞受賞

YKKAPは、夏場のリフォーム啓蒙施策「MADOショップ“涼活”2014]において、環境省が賛同する「熱中症予防声かけプロジェクト」の「ひと涼みアワード2014」で最優秀企画賞を受賞した。

MADOショップ事務局として各種イベントに出展し参加者へ熱中症予防の声かけを実施したほか、全国1000店舗を超えるネットワークを活用し地域住民の情報発信を行ってきた。

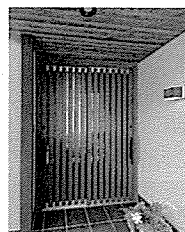
例えば、優秀賞を受賞した「MADOショップ蟹江学戸店」(運営：戸谷硝子住建)は、子どもから年配者まで参加できるペットボトルで店舗近隣10ヶ所に打水を実施したことが評価された。さらに「MADOショップ霧島牧園店」(マイライフ・オオニワ)、「MADOショップ御殿場古沢店」(渋谷木工所)、「MADOショップパートナー「デザインスタジオ」(磐田市)の3店も優良賞を受賞した。

リフォーム玄関引戸「NEWれん樹RH」28デザイン・9カラー新発売

YKKAPは、玄関引戸交換が1日で可能なりフォーム玄関引戸・れん樹RHのバリエーションを

大幅に拡充した「NEWれん樹RH」を10月新発売した。

「NEWれん樹RH」は、従来の4デザイン・3カラーから業界最多の28デザイン・9カラーに大幅に拡充したもの。デザインテイストは、現代和風、洋風ベーシック、伝統和風の3つ。エクステリア商品の「ルシアス」シリーズの門扉・フェンス、機能門柱ともデザイン・カラーコーディネートが可能。また、同一デザイン・同一枠種であれば、全サイズ同一価格を採用した分かりやすい価格設定も特長。



マンションリフォーム大規模修繕 会社「株式会社ラクシー」の全株式 取得、リフォーム事業の基盤構築

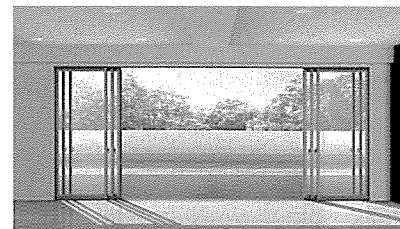
YKKAPは、マンションリフォーム大規模修繕会社「株式会社ラクシー」(千葉県松戸市)の発行済全株式を9月30日取得し、マンションリフォームビジネスの成長に向けた事業基盤の構築をすすめた。

ラクシー社は、ビル・マンションの大規模修繕工事事業を首都圏で展開し、建物の調査から施工・アフターメンテナンスまで一貫したサービスを提供、品質を最重視した事業を展開する。YKKAPは、ラクシー社の営業の展開力を通じて顧客のニーズをより深く探ることで、選ばれる商品・工法開発を行ない、メーカーと工事会社との融合を図り、マンションリフォームビジネスの事業基盤の構築を進めるもの。ラクシー社は資本金1億円、19908月30日設立、2013年度売上高46億9500万円、営業利益9900万円。

集合住宅・中低層オフィス向けの基 幹商品「EXIMA31」にワイドス パン対応の「引違い窓6枚建」を追加

YKKAPは、集合住宅・中低層オフィス向けの基幹商品「EXIMA31」に「引違い窓6枚建」を追加、10月1日受注開始した。

「引違い窓6枚建」は、ビル用ウインドウ商品としては業界初の設定。4枚建に比べて有効開口が約20%アップするほか、複層ガラス仕様もランアップした。最大5950mmまでのワイドスパン開口部に対応。レールフラット下枠仕様を用意。教育・医療・福祉施設、集合住宅向けに提案する。断熱等級は空気



層12mm以上の複層ガラス仕様でH-2等級。

重量のある窓の搬入作業をサポート するツール「マドラク・リフト」発売

YKKAPは、戸建住宅の窓の搬入作業をサポートするツール「マドラク・リフト」を10月本格発売した。最近の高断熱仕様窓の増加に対応するもので、現場作業の効率化・省力化と、作業員の安全・安心な就業環境を確保することに役立つツール。引違い窓の場合一度に4枚まで荷揚げ可能で、2階・3階のいずれの場合にも2人の作業員で安全かつ効率的な荷揚げ作業ができる。販売価格32万8000円。

YKK

「窓のある精密機械工場」への挑戦 「工機工場(ファスナー専用機械部 品工場)」着工、2016年4月操業

YKKは、工機技術本部において「工機工場(ファスナー専用機械部品工場)」(黒部市)を建設する。新工場は、「社員が自ら考え、進化し続ける」ことをコンセプトに、5年後10年後を見据えた将来の改善・改良、進化に対応できる自動化ラインとそれを実現するフレキシビリティを備えた工場にすると共に、精密機械部品の安定生産を担保するための高度な温度・湿度・振動管理の実現と自然採光を導入し社員の働きやすさを両立する「窓のある精密機械工場」へ挑戦と位置づけられている。

築50年の既存工場の跡地に建設する計画で、製造工程の見直しによって製造工程面積を従来の4万㎡から2万㎡に減少、分散している製造ラインの集約と機械組立ラインを直結させ、受注から出荷までの一貫生産工場を構築する。

生産リードタイム50%短縮、生産コスト20~30%引き下げを目標にする。また、使用エネルギーは25%削減、工業用水量70%削減する。延床面積：2万6069㎡。鉄骨造・地上2階建。2014年12月着工、2016年4月操業予定。投資額：設備投資を

含め78億円。

三協アルミ

高断熱樹脂窓「スマージュ」「トリプ ルスマージュ」に新窓種の「片上げ 下げ窓」「両袖片引き窓」を追加発売

三協立山株式会社・三協アルミ社(蒲原彰三社長)は、高断熱樹脂窓「スマージュ」「トリプルスマージュ」に、新たなる「片上げ下げ窓」「両袖片引き窓」を発売した。これまでの引違い窓、たてすべり出し窓、外開き窓、すべり出し窓、FIX窓、勝手口ドア、テラスドアに追加し、窓種バリエーションを強化した。

「片上げ下げ窓」は、内障子を上下にスライドし開閉する。任意の位置でストップできるので通風量の調節が可能。内障子は約35度内倒し出来、ガラス清掃時に配慮している。「両袖片引き窓」は、正面FIX・左右スライド障子のテラスタイプ。FIX部もロック解除してスライドする。

防犯性に配慮したクレセントとサブロックの2ロック仕様。指で押すだけで施錠できるワンタッチ式サブロック標準装備。内観色はホワイト。外観色にシャンパンブレイ・ホットブラウン・ブラック・ミディウムブラウン・ホワイトの5色。

操作性、質感を高めた後付樹脂内窓 「プラメイクEⅡ」シリーズを新発売

三協アルミ社は、後付樹脂内窓「プラメイクEⅡ」シリーズを発売した。従来品の「プラメイクE」よりも開閉操作が軽くなり、木目調カラー



の質感が向上したことなどが特長。浴室やキッチン、和室などさまざまな窓に対応する。

引違い窓(窓タイプ・テラスタイプ)の2枚建には、開口幅を110mmに制限できる換気用ストッパー付障子を設定。製作範囲が最大高さ2400mmから2450mmに拡大。引違い窓(浴室タイプ)には、複層ガラス用障子を追加し、最大幅1700mmに拡大。開き窓/テラスドアは、最大開き角度以内の好きな位置で窓を開くことができるフリクションステイをオプション設定。

いずれも断熱・遮音効果、防音効果、結露軽減、防犯効果が見込める。また、窓1ヶ所あたり約1時間のスピード施工。カラーバリエーションは、木目調カラーのクリアライト・ナチュラルパーチ・ダークの3色、モノトーンカラーのホワイト・グレー2色を加えた計5色の設定。

インテリア建材「ウッデリアVS高齢者施設向け商品」に「有効開口幅1200mmタイプ」を新発売

三協アルミ社は、インテリア建材「ウッデリアVS高齢者施設向け商品」に、「有効開口幅1200mmタイプ」を発売した。「高齢者施設向け商品」は、4月に発売されたサービ



ス付き高齢者向け住宅（サ高住）やグループホームなどに対応するもの。「有効開口幅1200mmタイプ」は、従来の有効開口1050mmタイプに追加された。介護用ベッドなどの大きな家具の移動もスムーズに行なえるほか、床面に段差がなく、通行時のつまずき防止にも配慮している。大型把手を標準設定、障子全開時にも96mmの引き残しを設けて手や指はさみを防止する。戸先側・戸尻側の両方にソフトクローズ仕様を採用。

片引き戸（上吊り仕様・アウトセット仕様）、片引き込み戸（上吊り仕様）に、錠なし6デザイン・錠付き4デザイン。片引き戸2枚連動（上吊り仕様）に錠なし4デザイン・錠付き2デザイン。クリアハート・ナチュラルチェリー・チョコナットの3色。

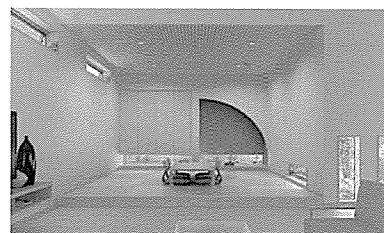
LIXIL

断熱窓「サーモスⅡ」と防火窓「防火戸FG」シリーズに採光・採風可能な「スリット窓」「スクエア窓」新発売

LIXIL（藤森義明社長）は、断熱窓「サーモスⅡ」と防火窓「防火戸FG」シリーズに、シャープなデザインで採光・採風可能な「スリット窓」と「スクエア窓」を11月1日からシステムブランドから新発売した。

「スリット窓」と「スクエア窓」は、プライバシーに配慮しつつ効果的に採光・採風できる窓種として、防火地域・準防火地域のおおい都市部を中心に人

気がたかまっている。「サーモスⅡ」と「防火戸FG」の両方にラインアップされるので1棟内での併用も可能。



「スリット窓」は、チェーン式オペレーター・電動ユニットに対応した「横スリットサイズ」と、床から天井まで届く2270mmを設定した「縦スリットサイズ」の2つ。幅はFIX窓で200mm、縦すべり出し窓で250mmから設定。「スクエア窓」には、200mm角のFIX窓から1mを越える大型サイズのピクチャーウィンドウを用意。横すべり出し窓が300mm角から設定。カラーは、「サーモスⅡ・H」／「防火戸FG・H」が外観5色・内観木目4色にホワイトの計5色。「サーモスⅡ・S」／「防火戸FG・S」は、外観・内観共5色。

熱交換換気ユニット「エコエア90」施工に必要なダクト部材一式の「エコエア90用かんたんパック」発売

LIXILは、熱交換換気ユニット「エコエア90」の施工に必要なダクト部材一式をセットにした「エコエア90用かんたんパック」を10月発売した。

工事に必要な基本9部材からなる「部材パック」に加えて、「ダクトパックφ75」、「給排気レジスター」、「給排気フードφ150」の必要数を決定することで部材一式をまとめて手配するもの。これまで現場に応じて工務店が電気工事店を通じて発注していた施工部材を一括して納品できるために、電気配線工事からダクト配管工事、給排気レジスターの設置までスムーズに行えるようになる。

LIXIL 鈴木シャッター

すっきりとした納まりを実現した次世代型不燃シート製防煙たれ壁「スモバリアスリムパネル式」発売

LIXIL 鈴木シャッター（牛尾清明社長）は、軽くて割れず、安全性に配慮した次世代型不燃シート製防煙たれ壁「スモバリア」シリーズに、「スモバリアスリムパネル式」を追加、全国発売した。

新商品「スモバリアスリムパネル式」は、従来品よりも上下枠、端部、中間縦枠が平均34%スリム

化させて、すっきりとした納まりを実現した。施工時のシート貼り作業が不要で、パネルをレールに引っ掛け、フレームカバーを固定するだけで天井に取り付けることができる簡単な施工。



シートは、透明性・透光率が高い「高透明タイプ」を用意。設置場所に応じて、L字・T字・十字などの納まりに対応。パネル枠カラーは、シルバー・シャイングレー・ホワイトの3色。間口1000mmから、高さ300～800mmに対応。

元旦ビューティ工業

空から見る美しい元旦の屋根「Bird View The GANTAN」を自社ホームページ上で空撮動画配信11月開始

元旦ビューティ工業（船木元旦社長）は11月1日からラジコンヘリを用いた空から見る美しい元旦の屋根「Bird View The GANTAN」を、自社ホームページ上で空撮動画配信を開始した。

第1弾は、「元旦屋根一体型横葺きソーラーシステム」を採用した「洋野町立種市小学校」（岩手県洋野町）。屋根と同一面に納まる「出っ張りのない美しい意匠」を空撮したもの。今後も特選された物件を毎月更新の予定。

また、各種製品カタログに設けたQRコードをスマートフォンやタブレット端末から読み取り、製品の特長が一目でわかる「動画配信サービス」も11月中旬から開始した。両面発電、屋根一体型ソーラーシステム「Sun・Bothノンシャドウ」、「元旦ウイング」、ソーラーシステム「取付金具シリーズ」などを動画でわかりやすく解説する。

ユニフロー

商業施設向けの入退場用ゲート「パイプゲート」本格発売、一方向通行で入口と出口を区分、防犯効果を高める

国内スイングドアのトップメーカーであるユニフロー（石橋さゆみ社長）は、商業施設やレジャー施設向けの入退場用ゲート「パイプゲート」の本格発売を開始した。

一方向通行に特化したスチール製ゲートで、「パイプゲートスモールドア」と「パイプゲートラージドア」

の2タイプ。ゲートは、軽く開けられ、通過後はゆっくり閉まる自閉式。緊急時には反対側から押す（開力約30kg）ことで開き機構。



特長は、パイプゲートの設置で売場の入口と出口を区分けし、帰りはレジを通らずには売場を出らないレイアウトにすることで防犯効果を高められること。同時に一方向通行により入店から退店までの動線づくりが可能で、アピール商品への誘導など販促にも貢献する。販売価格は1セット18万9000円。

不二サッシ

超高層マンションにも対応する空気層12mm複層ガラス対応・70mm枠サッシ「Super70P高水密型」発売

不二サッシ（土屋英久社長）は、基幹商品の「Super70P」（空気層12mm複層ガラス対応・70mm枠サッシ）に、高水密性能（中央値1500Pa）と耐風圧性能（4500Pa）を備えた「Super70P高水密型」を追加、新発売した。



高い水密性能と超高層マンションで要求される耐風圧性能を備えていることが特長。また、枠見込70mm・ガラス溝幅36mmで空気層12mm複層ガラスの組み込み可能な高断熱仕様。さらに最大高さ寸法2400mmのハイサッシ対応。オプションに開口制限付サブロック、初動開放引き力を低減するイーゾハンドル、開口制限ストッパーなどを設定。開口バリエーションは、引違い窓、片引き窓、FIX窓、たてすべり出し窓、框ドア。

三和ホールディングス

「マリリン・モンローカレンダー」をプレゼント、12月11日締め切り

三和ホールディングス（高山俊隆 CEO）は、2015年「マリリン・モンローカレンダー」（A1版・モノクロ基調）を制作、抽選で100名にプレゼントする。応募は三和ホールディングスカレンダー係12月11日到着分まで。1979年以来制作される「マリリン・モ

ンローカレンダー」は今回で37作目。

ホームページを全面リニューアル

三和ホールディングスは10月1日、ホームページを全面リニューアルした。リニューアルにより、個人投資家ページが新設されたほか、検索性・利便性の向上が図られた。IR情報ページでは、株主・投資家向けの情報拡充、最新決算資料の一括ダウンロードが可能。財務情報ページ内では、業績の推移をExcelでダウンロード可能。

K-engine

経済産業省の「中小企業等省エネルギー型クラウド利用実証支援事業」の「対象クラウドサービス」に登録

K-engine（喜久川正樹社長）の9月提供を開始した住宅建築のプロセスをIT化するプラットフォームサービス「K-engineサービス」が、経済産業省の「平成26年度中小企業等省エネルギー型クラウド利用実証支援事業」の「対象クラウドサービス」に登録された。

ケイミュー

まったく新しい質感の木目調外装材「セフィロウッド（グラデーション塗装）」と「エストレモウッド」大ヒット

ケイミュー（小森隆社長）の今春「ケイミューフェスタ2014」で人気を博した、木目調外装材「セフィロウッド（グラデーション塗装）」と「エストレモウッド」が、5月の新発売以降、想定を上回る勢いのまま販売拡大をつづけている。

同じ木目調外装材ながら、ネオロック・光セラ16／親水セラ16「セフィロウッド（グラデーション塗装）」は、新開発のグラデーション塗装により、古木の趣をまったく新しい質感でリアルに表現している。一方、エクセレージ・光セラ15／親水セラ15Pixcera「エストレモウッド」は、フルカラーセラジェット塗装で古木の自然かつランダムな表情を再現したもの。

「ネオロック・親水セラ18」に個性的な3柄新発売、深彫り18mm厚品のコーディネート幅を広げる

ケイミューは、外壁材2014年秋の新商品として、深彫りの「ネオロック・親水セラ18」に、18mm厚な

らではの重厚なデザインの個性的な3柄を新発売した。深彫りの18mm厚品は全8柄27品番に拡充され、コーディネート幅が広がられた。

新柄の「トリニティストーン」は、玄昌石の割肌と小口を交互に積みあげたような石積み調3色。「ディープウッド」は、古木を積みあげたような奥行き感、ビンテージ感漂う木目調3色。「レスティ」は、高さ・幅・奥行きサイズの異なる割肌をランダムに積みあげたような自然な風合いの石積み調3色。また、18mm厚の「グラフィストーン」にホワイト系カラー、「ラウンドウェーブ」にベージュ系カラーの新色を追加した。

「エクセレージ15パワーコート」には、「ブラッシュストーン」（4色）、「ラギッド」（3色）、さらに「セラ

旭硝子

グリーンユナイテッドライフと協業
「安心リフォームいえプラス」で新たな「窓リフォーム」取り扱い開始

ディール・親水14」に、「板木目14」（5色）、「ソティール14」（5色）をそれぞれ新発売した。

AGC・旭硝子（石村和彦社長）は、グリーンユナイテッドライフ（浅沼達平社長）と協業し、「安心リフォームいえプラス」で新たな「窓リフォーム」の取り扱いを開始した。AGCグループとして、初めて「商品＋工事＋製品保証」をパッケージにした定額商品をオンラインで提供する。

提供商品は、AGC省エネリフォーム窓製品「インナーウィンドまどまど」「ベヤプラス」。マーケティング、見積、申し込みのシステム提供をグリーンユナイテッドライフ、工事をAGC硝子建材がそれぞれ

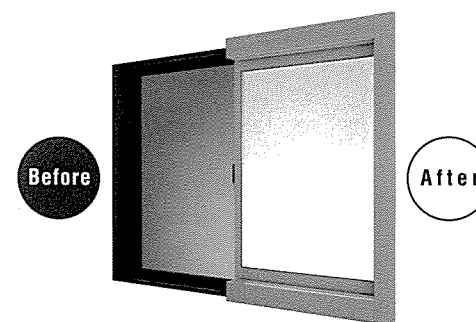
屋外でも使用可能な低反射ガラス
「クリアサイト」を自社開発・販売

担当する。首都圏、愛知、大阪の3拠点でサービスを開始し、順次全国展開する。

AGCは、屋外でも使用可能な低反射ガラス「クリアサイト」を販売する。低反射ガラスは、ガラスの両面に特殊なコーティングを施すことで光の反射率を抑え、映り込みを低減するガラス。そこにガラスが存在しないように見えることから、美術館の展示用ケースや店頭のショーケースなどに採用されている。

『窓を取りかえる』という選択

例えば今まで開けなかったしめきりのFix窓を〈開く窓〉に取り替える。風がスムーズに通る抜け、何か新鮮な出来事のようなですね。スマートカバー工法・リモデルウインドウならそんなことも可能です。



壁を壊さず窓を交換

MADO スマートカバー工法

リモデルウインドウ

YKK AP株式会社

お客様相談室 一般のお客様 ☎ 0120-20-4134 建築・設計関係者様 ☎ 0120-72-4134
●受付時間／月曜～土曜 9:00～17:00(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)
<http://www.ykkap.co.jp/>

YKK
ap